

平成27年1月25日（日）正午から、宮崎の中心街にあるスカイタワーホテルを会場として第26回鹿児島県立川辺高等学校宮崎支部総会・懇親会が総勢11名で開かれました。当日は、本部同窓会から、会長代理として宮原楊子同窓会監事（昭和37年卒）が、本校から小屋敷浩昭校長先生と同窓会係中尾龍二（昭和52年卒）の3名が参加させていただきました。

総会は、松山輝雄幹事長（昭和34年卒）の司会進行で行われ、まず、芝原正文宮崎同窓会会長（昭和42年卒）から、参加者は少人数ではあるが親しく集っている。母校の情報交換も含めて楽しいひと時を過ごしたいという主旨のあいさつがありました。

つぎに、来賓の挨拶として、宮原楊子同窓会監事からは、本日の参加者の一人である泊直十郎先輩とは同じ教室で学んだ同級生という秘話や大坪憲市同窓会会長（昭和41年卒）の川辺高校の活性化のために頑張っている姿を目の当たりにしたり、校長先生の「ピンチのときはチャンスである」という言葉を聞いて自分も母校のために頑張ろうと発奮したこと、また、子どもたちの文武両道に向けて頑張る生き生きとした姿を見ると今年はいいい年になる予感がする、と挨拶されました。校長先生は、高校の3年間は人生に大きな影響を与える時期であり、本校では伝統が子どもたちを育ててくれると話されました。また、大学入試結果の状況やなぎなた部、水泳部の全国大会出場、野球部の活躍等の部活動の状況。文化祭で1年生が取り組んだ爪楊枝アート。全国から12万句近く応募がある「かわなべ青の俳句大会」での9年連続12回目の学校賞受賞や2人の生徒の特別賞受賞、京都で行われる全国的な大会「言の葉大賞」での大賞・学校賞受賞を含めた創作面での活躍を話題にしながら、機動性のある職員集団が丸一となって生徒たちの頑張りを引き出し、様々な形で情報発信することで、地域の人も川辺高校は元気が出てきていると感じてくれているのではないかと学校の現況を報告されました。

その後、松山幹事長から宮崎同窓会の活動経過報告と現況、会計報告・監査報告があり、総会は終了しました。活動経過報告では、個人情報保護が若手参加者獲得のための熱い壁になっていることや各会員への情報提供の協力依頼が提起されました。また、総会資料の巻末には、総会案内の返信に書かれていたメッセージを全て掲載されており、松山幹事長の事前の準備の御苦労がうかがわれました。

引き続き、田代和民先輩（昭和26年卒）の乾杯の音頭で楽しい懇親会が始まりました。しばらくの歓談の後、和気あいあいとした中で出席者全員の自己紹介・現況報告が行われました。参加された皆様と杯を交わしながらの楽しいひと時はあっという間に過ぎ、田代和民先輩の指揮のもとでの新旧校歌の斉唱、泊先輩の万歳三唱で楽しい宴は終わりました。

今回は開催場所を都城に移しての宮崎同窓会と総会になります。皆様と元気な姿で再会することを楽しみにしながら、宮崎同窓会総会・懇親会の報告と致します。

松山幹事長の司会で総会は順調に進みます

昭和51年卒の野元隆志さん（中央）と
昭和52年卒の藺田洋一さん（右）



宮原さんと机を並べて勉学に励んだ泊直十郎さん（右）



芝原会長（中央）と昭和43年卒の和田政吉さん



昭和35年卒の桃木健治さんの近況報告。隣は紅一点の宮原楊子さん。右手前は小屋敷校長先生。



のびやかな高音が魅力の昭和26年卒の田代和民さんの指揮による校歌斉唱

